

三重教務所通信

2023

10 月号



発行人:三重教務所長 長澤 隆司
〒511-0073 桑名市北寺町 47 教務所開所時間 平日 9:00~17:00
☎:0594-21-8000 FAX:0594-21-8010
✉ 三重教務所 E-mail mie@higashihonganji.or.jp
桑名別院本統寺・三重教区HPアドレス <http://mie-betsuin.com/>



○慶讃法要三重教区お待ち受け大会抄録発行

このたび、昨年10月8日に開催しました。宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要三重教区お待ち受け大会の抄録を発行しました。

つきましては、教区内寺院へ1冊送付しますので、お目通しください。

なお、本冊子は『語り合い学び合う場』が生まれていく」という願いが具現化できるように、寺院での同朋会等の学習テキストとしてもご活用いただけるものとして発行していますので、ご入用の際は教務所までご連絡ください。

また、寺院以外の大会スタッフ及び関係者には別途送付いたします。

冊子裏表紙の下段、テレホン法話の電話番号について誤記がございました。

ここにお詫びし、下記のとおり訂正いたします。

正) 0594-23-6191 誤) 0594-21-8000



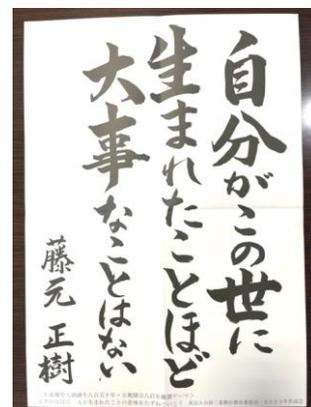
○法語ポスターについて(慶讃事業)

三重教区宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業「真宗の仏事の回復に資する事業」の取り組みとして、昨年に引き続き教区教化委員会にて法語ポスターを作成し、先月より1種類ずつ当通信に同封しています。

今月の言葉は、藤元正樹氏(元真宗大谷派教学研究所所員)の言葉です。

是非、本堂や掲示板に貼っていただき、ご活用ください。

なお、筆耕は、鈴木和貴氏(四日市組法藏寺)です。



○ちょっと大人の修学旅行～京都編～

「ちょっと大人の修学旅行～京都編～」は、精一杯に生きて悩む中・高生だからこそ、普段話せない気持ちを語り合い、教えに触れてほしいという願いのもと、教区教化事業として9月16日（土）から17日（日）の1泊2日で開催され、2名の中学生が参加しました。

1日目 本山で本廟奉仕と法話

1日目は御影堂門の清掃と、その後同朋会館で法話と座談をしました。



御影堂門の上樓の釈迦三尊のお話



御影堂門での清掃奉仕
雑巾がけよーい！どん！



大橋宏雄さんの法話

2日目 東本願寺の歴史をめぐる修学旅行

2日目は、東本願寺の晨朝参拝からスタート。その後は、本願寺水道の水源地（三条蹴上）へ向かい、違った一面から本願寺の歴史を学びました。その後は琵琶湖疏水をたどりながら南禅寺を拝観し、京町屋の趣きがあるお店での昼食。京都を学びながら観光する、ちょっと大人な修学旅行となりました。



本願寺水道の案内看板



南禅寺を拝観

研修会(公開)のおしらせ 詳細は、三重教区・桑名別院ホームページを参照ください

聖典基礎講座

- ◎期 日 ①9月29日(金)、②11月30日(木)
③2024年1月24日(水)、④3月27日(水)、5月29日(水)
- ◎時 間 13:30～16:30
- ◎会 場 三重同朋会館
※ Zoomを使用したオンライン併用
- ◎講 師 高柳 正裕 氏(学仏道場「回光舎」舎主)
- ◎テ ー マ 「仏に遇うー真実の自己・世界に遇うー」
- ◎参 加 費 3,000円(年間5回分)
- ◎申し込み 三重教区・桑名別院ホームページ <https://mie-betsuin.com//>
から申し込みください。

○ 教化推進総務会

・今年度の教区教化事業については、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業として、教区における教化事業が、同朋会運動推進を本旨とし「1カ寺・1カ寺の活性化・本来化」に資するものとなるよう、従来の教化事業にとらわれず、教区教化機構の検討を推進することを目的とし、教区教化委員会小委員会の設置を停止しながら、教区教化体制及び教区及び組の教化事業の見直しに傾注しているが、必要に応じて実施しなければならない教区教化事業については、実行委員会を設置して事業を実施していく。①得度義務研修会実行委員会については、伊藤誓英・中川和子・坂口愛・鈴木勘吾・高野昭磨・山崎信之（敬称略）の6名が委員に就任し、今後、研修会の内容や実施についてご尽力いただく。第1回目の会議は、10月18日（水）午後2時から開催する。②組門徒会員研修実行委員会については、員辨暁・酒井誠・林恒男・柴田徹・檜歩・石原孝の6名が委員に就任し、今後協議を重ねる。

○ 教区坊守会

・「真宗門徒の集い」講師：藤場芳子氏（真宗大谷派金沢教区常讃寺副住職・解放運動推進本部「女性室」元スタッフ）について、来年の6月19日（水）に開催する。なお、詳細は今後、役員会で検討を重ねる。

【敬 弔】 生前のご功労を深謝し謹んで哀悼の意を表します。

南勢1組 本宗寺 前住職 井澤 芳子（2023年9月20日寂）

【教務所の事務休暇についてのお知らせ】

下記期間を教務所事務休暇とさせていただきます。

期間・・・10月25日（水）～26日（木）

事由・・・東海連区教務所員研修の為

緊急連絡先 桑名別院 Tel 0594 - 22 - 0652

10月のテレホン法話

10月 1日～15日 …高木 彩（四日市組 信光寺 住職）

10月 16日～31日 …小野欽市（中勢1組 託縁寺 門徒）

心をひらく

24時間 いつでも どこでも テレホン法話

☎ (0594) 23-6191

○2023年「御正忌報恩講」参拝の申込について(10/31 締切)

本年も、真宗本廟において11月21日の「御正忌報恩講讃仰法要（音楽法要）」に始まり、21日初逮夜から28日結願日中まで「御正忌報恩講」が厳修されます。

真宗門徒にとって最も大切な仏事である報恩講に、有縁の皆様をお誘い合わせの上、ぜひご参拝くださいますようご案内申し上げます。

今年度から、

「見聞『教行信証』坂東本一親鸞聖人から私たちへのメッセージ」、

「子どものひろば 東本願寺キャラクター大型バルーン」

などの新規事業もありますので、是非ご検討ください。



【団体参拝・お斎 申込期間】

2023年7月4日(火)午前9時から10月31日(火)午後5時まで

※ バス・自家用車の駐車をご希望される場合は必ずお申し込みが必要です。

※ 報恩講は、お申し込みなしでも自由に参拝いただけますが、申込いただいた方には、記念品をご用意します。

[東本願寺ホームページ](https://www.higashihonganji.or.jp) → [寺院の方へ](#)

<https://www.higashihonganji.or.jp/news/offer/57104347/>

【申込方法】 [お問い合わせ] 本廟部 参拝接待所
以下のいずれかの方法にてお申し込みください。

① 申込専用フォーム



② 電話：075-371-9210（午前9時～午後5時）

FAX：075-371-9204

メール：honbyo@higashihonganji.or.jp



○2023年能登地震救援金について

2023年能登地震に対して三重教区では、35,208円の救援金が寄せられ、本山救援金口座へ送金しました。

また、全教区から3,335,217円の救援金が寄せられ、真宗本廟救援金箱の救援金と合わせ、能登教区に400万円給付することが決定されました。

救援金勧募にご協力いただいた全ての方に、衷心より厚く御礼申し上げます。

○東本願寺出版 新ホームページ開設にともなう会員登録について

このたび、10月1日よりインターネット販売サイト「TOMOぶっく」と情報発信サイト「東本願寺出版HP」の2つのサイトが統合され、新ホームページが開設されます。新ホームページのURLは、「TOMOぶっく」のURLを引き継ぎます。



開設に伴い、すでに「TOMOぶっく」で会員登録されている方（寺院ID含む）は、新サイトで10月1日以降に新規ご登録いただきますようお願いいたします。

なお、当件についてのご不明な点は、

東本願寺出版部（☎075-371-9189 e-mail: books@higashihonganji.or.jp）
に問い合せください。

9月26日～30日までは、新システム移行の為、教務所での頒布は中止となります。
「TOMOぶっく」も、26日14時にアクセスできなくなりますので、ご注意ください。

書籍のご案内(東本願寺出版)

『命終（伝道ブックス89）』

蒲池勢至 著 330円（税込）

妻の命終をきっかけに、亡き人のゆくえを問い求めてきた著者の葛藤を克明に語る一冊。愛しさと悲しみのつる中、中陰や毎日のお勤め、民俗学者として出会う伝承の言葉をとおして、「南無阿弥陀仏」の声の中に亡き人と出遇ってゆける、という思いに至るまでの心の変遷をつづる。



『報恩講（2023年版）』

77円（税込）

毎年発行されている冊子『報恩講』【2023年版】

- 私と報恩講 山田顕子（福井教区第10組 唯稱寺坊守）
- 仏恩と師恩 今泉温資（「往生人舎」同朋の会主宰）



人間は闇の自覚なしに、光の自覚があろうはずがない

高光 大船

晴耕雨読（教務所員から）

駐在教導：藤井 晃世

皆さんは、今年の夏はどんな思い出がありますか？

記録的猛暑。統計開始以降最も暑い夏。毎年、「アツイ、アツイ」と口で言いますが、今年はそのにもまして「アツイ」という一言は止まりません。お参りをしている、汗がとめどなくできます。

そんな夏の最後の思い出に山梨県にキャンプにでかけました。

普段は2時間たらずのところを、行きは4時間。当然、まだ流行りのキャンプですから、キャンプ場も予約で満員。コテージサイト、テントサイトに車も満杯。家族連れでいっぱい。自然の中に子どもたちの楽しそうな声もいっぱい。施設内の共同浴場も満杯。帰りは片道6時間の道のり。そして、家族全員クタクタで帰宅。

そんな時、ふと、「はて不便なところに、不便な思いをして、一体何をしに行ったのだろうか」という思いが過ります。ただ涼しさを求めただけだったのか……。

子どもにとってはこれまでできなかった体験かもしれませんが、見守るこっちは、上手くできないことへの苛立ち。一方で、自分自身も簡単にできることもなぜか上手くいかない……。 「こんなはずじゃなかったのに」との思いが浮かぶ。思い描いていたおしゃれで優雅なキャンプの時間は何一つ進まず失敗だらけ。これが「思い通りにいかない現実なのか……。」

しかし、これが私の夏の記憶です。小さい頃から夏の家族旅行なんてなかった私。ここ数年いつも時間に追われ、まとまった休みを取ることができずに、夏休み旅行もできなかった私。そんな私にとっては、思い通りにいかなかった涼しい山梨県でのひと時が夏の記憶。「全て楽しいことだけが思い出」ではなく、今までできなかったことが、今まで来たことのない場所で、今まで感じなかった思いを実感することが「思い出」なのだ実感した、涼しい夏の思い出でした。

「とうさーん、ちゃんとキャンプのYouTube見てんの？」

「……………」

目の前の人、私に何を伝えようとしているのか。歯がゆさと、情けなさと、少し楽しい記憶と共に、自問自答が駆け巡る。





日	曜	行事内容
1	日	
2	月	坊守会役員会 13:00-
3	火	
4	水	
5	木	所長巡回=伊賀組(組会)19:00-
6	金	教研月例会 13:30-
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	所長巡回=中勢一組(組門徒会)10:30- / 特伝協議会 14:00-
11	水	三重同宗連後期研修会(～12日まで)
12	木	
13	金	教区同推協定例協議会 9:30-
14	土	第57回三重県人権同和教育研究大会(～15日まで)
15	日	
16	月	
17	火	第1回坊守講座 13:00-
18	水	得度義務研修会実行委員会 14:00-
19	木	【連区】正副議長会(於:名古屋教務所)
20	金	合唱団「ひかり」練習日 13:00-(於:間光殿) / 寺院活性化ワークプレ大会シュミレーション 13:30- / 新旧教務所長歓送迎会 18:00-(於:ザフナツヤ)
21	土	
22	日	中勢2組特伝本講座①13:30-(於:法因寺)
23	月	
24	火	所長巡回=四日市組(組門徒会)10:00-
25	水	連区教務所員研修(～26日まで。教務所事務休止)
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	三重真宗教学学会総会 13:30-
31	火	教区慶讃事業推進委員会 13:30-

① ご坊さんだより ② 法語ポスター ③ お待ち受け大会抄録 ④ 第2回坊守講座チラシ

10月以降(4ヵ月)の行事予定は、ホームページで公開していますので、是非ご活用ください。

QRコードはこちら➡

